

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年6月18日 (2009.6.18)

【公表番号】特表2009-510514(P2009-510514A)

【公表日】平成21年3月12日 (2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-010

【出願番号】特願2008-533244(P2008-533244)

【国際特許分類】

G 1 0 L 19/00 (2006.01)

G 1 0 L 19/02 (2006.01)

H 0 3 M 7/40 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 19/00 2 1 3

G 1 0 L 19/00 2 5 0

G 1 0 L 19/00 4 0 0 Z

G 1 0 L 19/02 1 5 0

H 0 3 M 7/40

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月27日 (2009.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビットストリームを受信し、複数のチャネルを有するオーディオ信号を復号化する方法
であって、

前記ビットストリームから、前記複数のチャネルのうちの 2 チャネル間の量子化された
エネルギー差 C L D に関連する情報に対応するパイロット基準値を獲得し、

前記パイロット基準値に対応するパイロット差分値を獲得し、

前記パイロット基準値を前記パイロット差分値に加算することによって、前記量子化さ
れた C L D に関連する情報を獲得し、

量子化テーブルを用いて、前記量子化された C L D に関連する情報を逆量子化する、
ことを特徴とするオーディオ信号の復号化方法。

【請求項 2】

前記逆量子化において、

量子化モードを抽出し、

前記量子化モードが第 1 モードである場合は第 1 量子化テーブルを使用し、前記量子化
モードが第 2 モードである場合は第 2 量子化テーブルを使用して、前記量子化された C L
D を逆量子化する、請求項 1 に記載のオーディオ信号の復号化方法。

【請求項 3】

前記第 1 量子化テーブルの量子化分解能は、前記第 2 量子化テーブルの量子化分解能と
は異なる、請求項 2 に記載のオーディオ信号の復号化方法。

【請求項 4】

前記第 1 量子化テーブルは、前記第 2 量子化テーブルよりも多くの量子化ステップを有
する、請求項 3 に記載のオーディオ信号の復号化方法。

【請求項 5】

前記第 1 量子化テーブルは、前記第 2 量子化テーブルよりもサイズが小さい量子化ステップを有する、請求項 3 に記載のオーディオ信号の復号化方法。

【請求項 6】

前記量子化モードは、量子化される信号のエネルギーレベルに基づいて決定される、請求項 2 に記載のオーディオ信号の復号化方法。

【請求項 7】

前記パイロット基準値は、前記量子化された C L D の集合の平均値、中間値、最頻値のうちのいずれか 1 つである、請求項 1 に記載のオーディオ信号の復号化方法。

【請求項 8】

さらに、前記ビットストリームから、前記 2 チャンネル間の C L D に関連するハフマン符号化情報を抽出し、

抽出した前記ハフマン符号化情報をハフマン復号化する、請求項 1 に記載のオーディオ信号の復号化方法。

【請求項 9】

ビットストリームを受信し、複数のチャンネルを有するオーディオ信号を復号化する装置であって、

前記ビットストリームから、前記複数のチャンネルのうちの 2 チャンネル間の量子化されたエネルギー差 C L D に関連する情報に対応するパイロット基準値を獲得し、前記パイロット基準値に対応するパイロット差分値を獲得するアンバッキング部と、

前記パイロット基準値を前記パイロット差分値に加算することによって、前記量子化された C L D に関連する情報を獲得する差分復号化部と、

量子化テーブルを用いて、前記量子化された C L D に関連する情報を逆量子化する逆量子化部と、

を有することを特徴とするオーディオ信号の復号化装置。

【請求項 10】

請求項 1 に記載のオーディオ信号の復号化方法を実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読取可能記憶媒体。

【請求項 11】

複数のチャンネルを有するオーディオ信号のビットストリームであって、

量子化されたエネルギー差 C L D の集合に関するデータを有するデータフィールドと、

前記量子化された C L D の集合を代表するパイロットに関する情報を有するパイロットフィールドと、

前記量子化された C L D の集合を生成するために使用される量子化テーブルに関する情報を有するテーブル情報フィールドと、

を有することを特徴とするオーディオ信号のビットストリーム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】オーディオ信号の復号化方法及び復号化装置、コンピュータ読取可能記憶媒体並びにオーディオ信号のビットストリーム